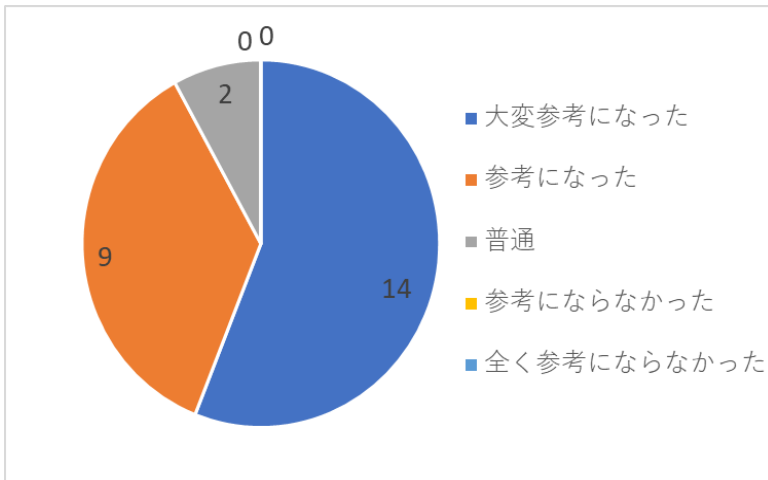
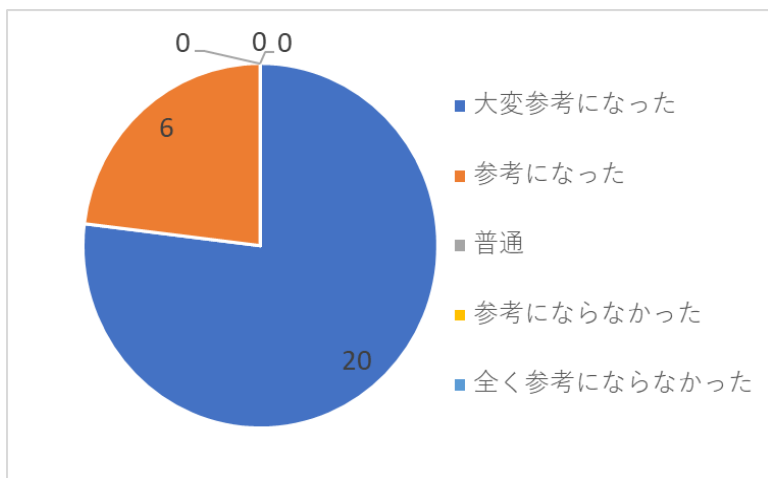


まちづくりフォーラムアンケート

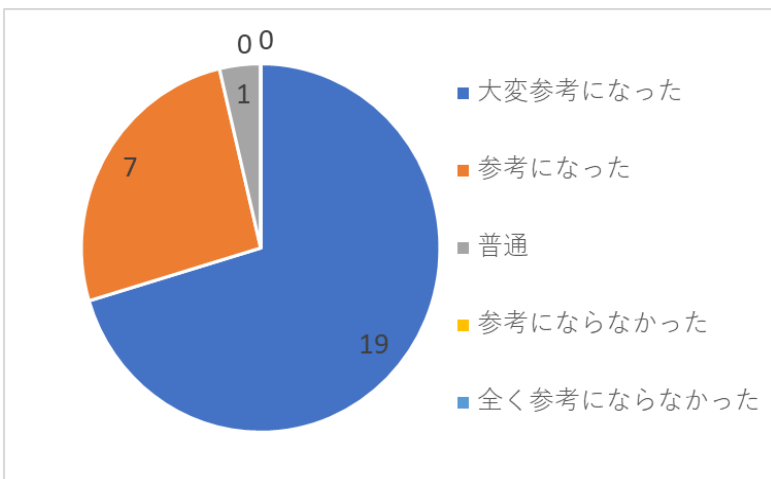
1-1 白田氏基調講演はどの程度参考になりましたか？



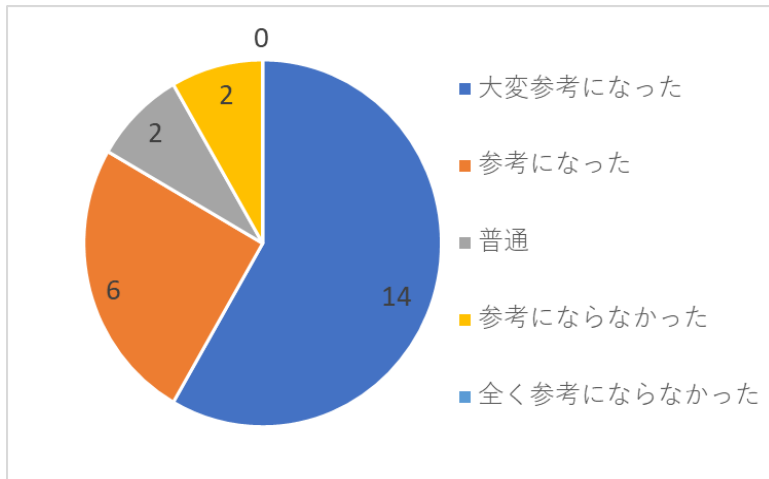
1-2 地域事例紹介①「UR豊里団地」はどの程度参考になりましたか？



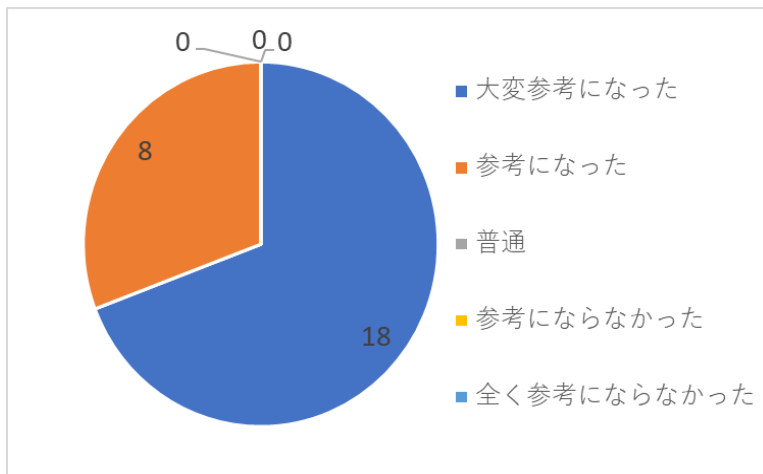
1-3 地域事例紹介②「ローレルハイツ北天満」はどの程度参考になりましたか？



1-4 アンケート報告はどの程度参考になりましたか？



1-5 全体を通してどの程度参考になりましたか？



1-6 「特に印象に残ったこと」や「地域の方への応援メッセージ」をご自由にお書きください。

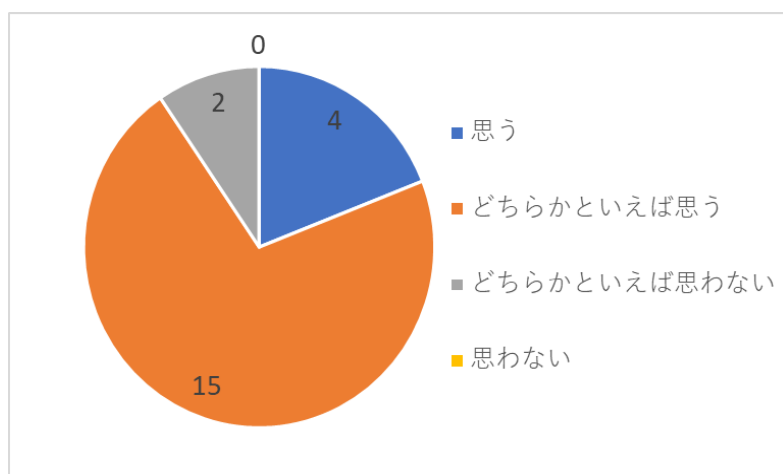
- ・とても参考になりました。楽しくお話聞けました。
- ・地域の方が、地域のために活動していること、本当に素晴らしいです。
- ・新豊里団地のアンケートは、すごいと思った。
- ・先輩がローレルハイツに居住されていて、伺ったことがあります。街中と郊外のマンションの違いと、住民意識の違いがおもしろいです。
- ・アンケートで「地域活動への参加度」の「関心はあるが参加していない」の回答が多いことにおどろきました。
- ・UR豊里団地の活動について参考になった。
- ・事例紹介、アンケート報告を通して町会活動の参考になった。
- ・キーマンになる方がいる地域は、強いと思いました。“ついて行きたい”と思える方がいることで、こんなにも活性化するのかと、おどろきました。
- ・自身の町会の活動に、とても参考になりました。ありがとうございました。
- ・2つの地域のお取組、素晴らしいですね。できる所まで継続され、終わられることを、祈っています。もう少し、聞きにくいことも、つつこんで聞けると良かったです。

- ・岡田さんの活動が、パワフル過ぎてびっくりしました。
- ・マンションに関する臼田先生の様々な整理がわかりやすかった。
- ・意外と防災がとっかかりとなるのが驚きました。また、誰が住んでいるのか知ること、自治会などの知識を増やすことでも、理解が増えると感じました。

2 今、在住（在勤・在学）されている地域が、もっと良くなるために、どんな活動や取り組みがあると良いと思いますか？

- ・やっぱり井戸端会議の開催。臼田先生の話聞いてそう思った。
- ・居場所でしょうか？
- ・細かい「御用聞き」
- ・スマホ教室。大学生との交流会。
- ・地域活動がわからない為、周知してほしい。
- ・世代をこえて、顔のみえる場、つながる場。
- ・軽作業支援。
- ・活動を続けていくための仕組みづくり（コーディネーターとそれを支えるための費用の捻出＝事業化）
- ・防災、ごみ、自転車活用
- ・企業（特に中小）の地域への参入
- ・若い方に知ってもらうための発信と、入りやすい雰囲気。例：入学や就職などで、新天地に引越して来た人がその地域のことを知れる取り組み。
- ・“よくなる”がそれぞれに違うと思います。45才区内在住の1人暮らしの私としたら地域にしばられず、気軽に参加できるイベントがあると良いとお観ます。

3 あなたは、地域のまちづくりに関する活動が、地域・企業・教育機関・行政等様々な活動主体の連携によって進められていると思いますか。



4 自由記載欄

- ・地域の方の生の声、とてもよかったです。
- ・高齢化→自治会運営の変更点など、どうすればいいか。

- ・資料 A4ヨコの両面印刷の場合は、めくったときに次のページがそのまま見えるようにしてほしい。資料コピー機の丁合機能を使い、ホチキス止めまで自動でやっていると思うが、紙の端がバラバラでそろっていない。なぜそんなにきたなくなるのか。アンケート集計 単純なグラフ集計だけで、結果解析が乏しい。棒グラフは、傾向が見づらい。「戸建てと集合住宅でニーズが少し違いそう」とあるが、どこを見ればわかるのか？空き家・空地について戸建ての方が多いのでは当然。報告ときいても分析がうすっぺらすぎる。
- ・区役所の司会者の話がほとんど聞き取れませんでした。マイクが不調or人が不調？
- ・今、固まりのあるマンション、団地より、平場の住宅地域の方が、コミュニティづくりが難しいのでは？と思います。
- ・コミュニティの今後の形を教えてください。どのようなになっていくのか？どうしていけばいいのか？コミュニティ=ボランティアという構図を変えないといけない。「責務あるボランティア」は難しくなると思います。（責務と責任が伴うボランティア）
- ・地域の外国人との関わり（活用？）。交流（どのように住みたいと考えているかが知りたい）
- ・アンケートの内容が今後の活動のヒントになると思う。
- ・住民交流への取り組み→男性の参加が少ない。高齢者の把握と個人情報の関係。
- ・若者参加への発信方法。
- ・どのテーマを取り上げても、人材とお金の話になると思います。当フォーラムがそれを話し合い、啓発しつづける場として、続くことを願います。